

アメリカから帰ってきてまだ数日しかたっていないのに昔のように思ってしまうのは、海外研修が楽しくてあつとやうに過ぎてしまったせいなのでしょう。か、あり返れば良い事ばかりではありませんでした。しかし良い経験ではありました。

そして今回の研修で私は印象に残った事が四つあります。

一つ目は、ホームステイでの事です。私の友達の人達が過ごした家族の人たちの事なのですが、その家族の子供は皆が養子だったそうです。親がいない子供を養子として迎え入れ育てていたのだそうです。子供たちは自分が養子だという事を知っていたけれど、子供たちは、養いの親を「養い親」ではなく「本当の親」と認識していたようです。これは私が過ごした家庭の話ではなく、友達が過ごした家庭の話です。けれどこの事を聞いた時私は心から感動し、驚きました。血のつながりではなく心のつながりというものが本当にあるんだなあと思ったのです。私もそんなふうになんか人に接し親切に

したいと深く思うきっかけになった出来事です。

二つ目は、9日目アトラクタの事です。本当はどうでも良い事だったのですが、私の目をひいてしまったのです。そう、それは、かの有名なキング牧師の家を見学し、バスにもどる途中に横切った老人ホームだったのです。いろいろな建物があったのになぜか目についてしまいました。ちょうど道路に面していて建物の中が見えたからかもしれません。ヘルパーの方と老人の方が楽しそうに会話をしていたようでした。私は気になった事が一つあったので、ガイドの方に聞いてみることにしました。「老人ホームはアメリカでも入るのにお金はかかるんですよね。」するとガイドさんから「驚くべき答えが返ってきたのです。「さっきの老人ホームはそんなにからかれないよ。」という言葉でした。日本では、老人ホームに入るのに莫大なお金がかかるというのをニュースで見たことがあって、私は仰天してしまいました。ガイドさんの話ではアメリカではそういうのは別段めずらしくないそうです。日本にもあるようですが、少ない

そうです。これから日本も4人に1人は高齢者になるそうです。ということは高齢化社会には老人ホームが多く必要だし、安く入れるという事も重要になってくるような気がします。だからそういう事はアメリカを見習えば良いのではないかなあと思いました。

話は免れましたが、三つ目はホームステイでの出来事なのですが、ホストファミリーの人とプールの行った時です。私と友達の人と二人で遊んでいた時にアメリカの人に、なぜかわからないけれど、水をかけられた事です。日本人はアメリカより童顔ですし、私達二人は背も小さかったせいもあり、からかいやすかったのかもかもしれません。けれど少しばかりむっとしたのには言うまでもありません。しかしここはこちらが引こうと思っただけですが、それがいけなかったようなんです。ずっと水をかけられたのでホストファミリーの所へ行き、これは一件落着。しかしこの事は私達に大きな不快感を残してしまいました。けれど全員がそういわけではないとありまして、「大丈夫だよ」とにこりと笑いかけてくれたり、「Hi」や「Hello」と言ってくれた人もいっぱいいたの、プールでの事は良い経験の分類に入れておくことにしました。

そして四つ目は、私自身の事なのですが、アメリカの人と会話をするにあたって私達日本人は英語を話します。私はまだ中学生だけれどそれなりに会話はできました。そして単語だけでも通じる事がわかりました。しかし私が困ってしまったのは、相手が聞いていることは理解できているのに返事や答えになる単語がわからなかった事です。相手の言うに答える事は理解できているのに答えられない事が多かったです。仕方ありませんでした。しかしそんな私達を見て心が広いアメリカの人は辞書を持ってきてくれたり、ゆっくり話してくれたり、紙に書いてくれたりして真剣に私達と向き合ってくれたので、うれしかったです。そして、アメリカの人はどんな事があっても私達を責めたりはしませんでした。結局私達が答えられず、肩を落とし「I'm sorry」と言う「That's OK」と言ってくれます。アメリカの人にとってしてみれば社交辞令なのかもしれません。けれどあんな安心できるものもありません。私もどんな事があっても笑顔で「どういたしまして」「大丈夫だよ」と言えるようになりました。

と、このように、私には印象に残った事がたくさんあります。見学したところもそうだけれど、こんな些細な事でも本当

アメリカから帰ってきてまだ数日しかたっていないのに昔のように思ってしまうのは、海外研修が楽しくてあつとやうに過ぎてしまったせいなのでしょう。か、あり返れば良い事ばかりではありませんでした。しかし良い経験ではありました。

そして今回の研修で私は印象に残った事が四つあります。

一つ目は、ホームステイでの事です。私の友達の人達が過ごした家族の人たちの事なのですが、その家族の子供は皆が養子だったそうです。親がいない子供を養子として迎え入れ育てていたのだそうです。子供たちは自分が養子だという事を知っていたけれど、子供たちは、養いの親を「養い親」ではなく「本当の親」と認識していたようです。これは私が過ごした家庭の話ではなく、友達が過ごした家庭の話です。けれどこの事を聞いた時私は心から感動し、驚きました。血のつながりではなく心のつながりというものが本当にあるんだなあと思ったのです。私もそんなふうになんか人に接し親切に

したいと深く思うきっかけになった出来事です。

二つ目は、9日目アトラクタの事です。本当はどうでも良い事だったのですが、私の目をひいてしまったのです。そう、それは、かの有名なキング牧師の家を見学し、バスにもどる途中に横切った老人ホームだったのです。いろいろな建物があったのになぜか目についてしまいました。ちょうど道路に面していて建物の中が見えたからかもしれません。ヘルパーの方と老人の方が楽しそうに会話をしていたようでした。私は気になった事が一つあったので、ガイドの方に聞いてみることにしました。「老人ホームはアメリカでも入るのにお金はかかるんですよね。」するとガイドさんから「驚くべき答えが返ってきたのです。「さっきの老人ホームはそんなにからかれないよ。」という言葉でした。日本では、老人ホームに入るのに莫大なお金がかかるというのをニュースで見たことがあって、私は仰天してしまいました。ガイドさんの話ではアメリカではそういうのは別段めずらしくないそうです。日本にもあるようですが、少ない

そうです。これから日本も4人に1人は高齢者になるそうです。ということは高齢化社会には老人ホームが多く必要だし、安く入れるという事も重要になってくるような気がします。だからそういう事はアメリカを見習えば良いのではないかなあと思いました。

話は免れましたが、三つ目はホームステイでの出来事なのですが、ホストファミリーの人とプールの行った時です。私と友達の人と二人で遊んでいた時にアメリカの人に、なぜかわからないけれど、水をかけられた事です。日本人はアメリカより童顔ですし、私達二人は背も小さかったせいもあり、からかいやすかったのかもかもしれません。けれど少しばかりむっとしたのには言うまでもありません。しかしここはこちらが引こうと思っただけですが、それがいけなかったようなんです。ずっと水をかけられたのでホストファミリーの所へ行き、これは一件落着。しかしこの事は私達に大きな不快感を残してしまいました。けれど全員がそういわけではないとありまして、「大丈夫だよ」とにこりと笑いかけてくれたり、「Hi」や「Hello」と言ってくれた人もいっぱいいたの、プールでの事は良い経験の分類に入れておくことにしました。

そして四つ目は、私自身の事なのですが、アメリカの人と会話をするにあたって私達日本人は英語を話します。私はまだ中学生だけれどそれなりに会話はできました。そして単語だけでも通じる事がわかりました。しかし私が困ってしまったのは、相手が聞いていることは理解できているのに返事や答えになる単語がわからなかった事です。相手の言うに答える事は理解できているのに答えられない事が多かったです。仕方ありませんでした。しかしそんな私達を見て心が広いアメリカの人は辞書を持ってきてくれたり、ゆっくり話してくれたり、紙に書いてくれたりして真剣に私達と向き合ってくれたので、うれしかったです。そして、アメリカの人はどんな事があっても私達を責めたりはしませんでした。結局私達が答えられず、肩を落とし「I'm sorry」と言う「That's OK」と言ってくれます。アメリカの人にとってしてみれば社交辞令なのかもしれません。けれどあんな安心できるものもありません。私もどんな事があっても笑顔で「どういたしまして」「大丈夫だよ」と言えるようになりました。

と、このように、私には印象に残った事がたくさんあります。見学したところもそうだけれど、こんな些細な事でも本当

アメリカから帰ってきてまだ数日しかたっていないのに昔のように思ってしまうのは、海外研修が楽しくてあつとやうに過ぎてしまったせいなのでしょう。か、あり返れば良い事ばかりではありませんでした。しかし良い経験ではありました。

そして今回の研修で私は印象に残った事が四つあります。

一つ目は、ホームステイでの事です。私の友達の人達が過ごした家族の人たちの事なのですが、その家族の子供は皆が養子だったそうです。親がいない子供を養子として迎え入れ育てていたのだそうです。子供たちは自分が養子だという事を知っていたけれど、子供たちは、養いの親を「養い親」ではなく「本当の親」と認識していたようです。これは私が過ごした家庭の話ではなく、友達が過ごした家庭の話です。けれどこの事を聞いた時私は心から感動し、驚きました。血のつながりではなく心のつながりというものが本当にあるんだなあと思ったのです。私もそんなふうになんか人に接し親切に

したいと深く思うきっかけになった出来事です。

二つ目は、9日目アトラクタの事です。本当はどうでも良い事だったのですが、私の目をひいてしまったのです。そう、それは、かの有名なキング牧師の家を見学し、バスにもどる途中に横切った老人ホームだったのです。いろいろな建物があったのになぜか目についてしまいました。ちょうど道路に面していて建物の中が見えたからかもしれません。ヘルパーの方と老人の方が楽しそうに会話をしていたようでした。私は気になった事が一つあったので、ガイドの方に聞いてみることにしました。「老人ホームはアメリカでも入るのにお金はかかるんですよね。」するとガイドさんから「驚くべき答えが返ってきたのです。「さっきの老人ホームはそんなにからかれないよ。」という言葉でした。日本では、老人ホームに入るのに莫大なお金がかかるというのをニュースで見たことがあって、私は仰天してしまいました。ガイドさんの話ではアメリカではそういうのは別段めずらしくないそうです。日本にもあるようですが、少ない

そうです。これから日本も4人に1人は高齢者になるそうです。ということは高齢化社会には老人ホームが多く必要だし、安く入れるという事も重要になってくるような気がします。だからそういう事はアメリカを見習えば良いのではないかなあと思いました。

話は免れましたが、三つ目はホームステイでの出来事なのですが、ホストファミリーの人とプールの行った時です。私と友達の人と二人で遊んでいた時にアメリカの人に、なぜかわからないけれど、水をかけられた事です。日本人はアメリカより童顔ですし、私達二人は背も小さかったせいもあり、からかいやすかったのかもかもしれません。けれど少しばかりむっとしたのには言うまでもありません。しかしここはこちらが引こうと思っただけですが、それがいけなかったようなんです。ずっと水をかけられたのでホストファミリーの所へ行き、これは一件落着。しかしこの事は私達に大きな不快感を残してしまいました。けれど全員がそういわけではないとありまして、「大丈夫だよ」とにこりと笑いかけてくれたり、「Hi」や「Hello」と言ってくれた人もいっぱいいたの、プールでの事は良い経験の分類に入れておくことにしました。

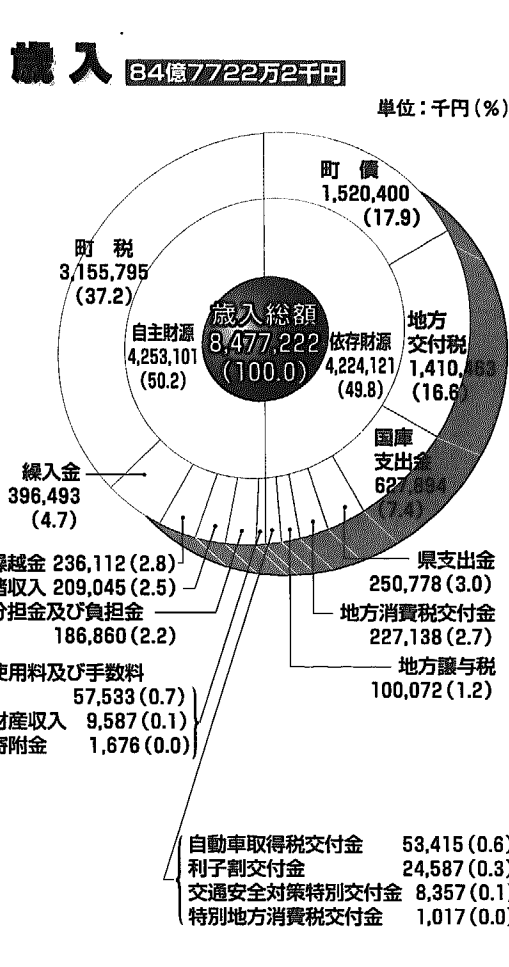
そして四つ目は、私自身の事なのですが、アメリカの人と会話をするにあたって私達日本人は英語を話します。私はまだ中学生だけれどそれなりに会話はできました。そして単語だけでも通じる事がわかりました。しかし私が困ってしまったのは、相手が聞いていることは理解できているのに返事や答えになる単語がわからなかった事です。相手の言うに答える事は理解できているのに答えられない事が多かったです。仕方ありませんでした。しかしそんな私達を見て心が広いアメリカの人は辞書を持ってきてくれたり、ゆっくり話してくれたり、紙に書いてくれたりして真剣に私達と向き合ってくれたので、うれしかったです。そして、アメリカの人はどんな事があっても私達を責めたりはしませんでした。結局私達が答えられず、肩を落とし「I'm sorry」と言う「That's OK」と言ってくれます。アメリカの人にとってしてみれば社交辞令なのかもしれません。けれどあんな安心できるものもありません。私もどんな事があっても笑顔で「どういたしまして」「大丈夫だよ」と言えるようになりました。

と、このように、私には印象に残った事がたくさんあります。見学したところもそうだけれど、こんな些細な事でも本当

中学生海外派遣研修レポート⑤

先月号に引き続き、研修の成果をご覧ください。

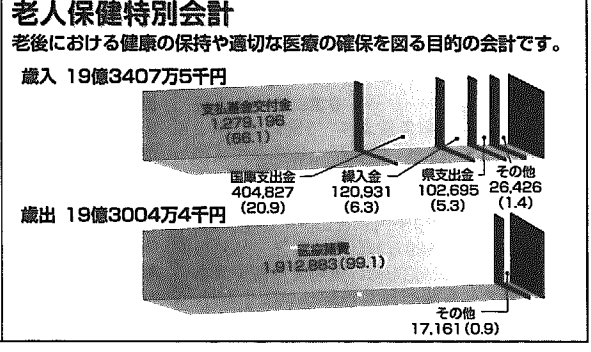
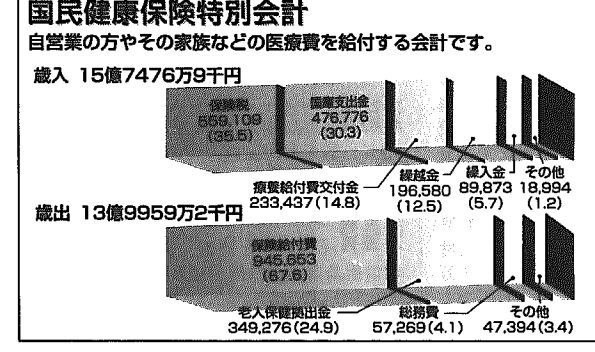
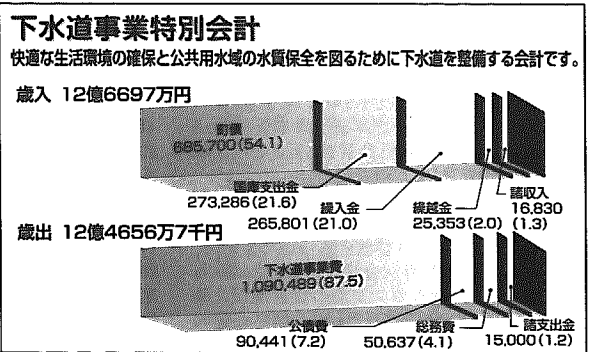
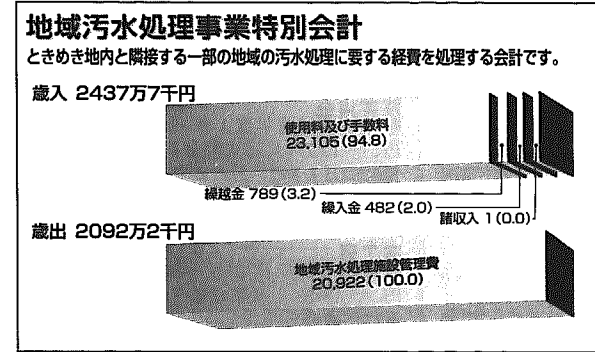
海外研修に参加し得た事
大塚 亜沙美(善久西)



| 自主財源 | 依存財源 |
|--|---|
| 町税 31億5579万5千円 (町の最大の取入源、前年度より-2億2129万5千円、-6.6%) 固定資産税16億6198万3千円、町民税12億8216万9千円など 繰入金 3億9649万3千円 (基金を崩して一般会計に入れるもの、前年度より+4841万8千円、+13.9%) 財政調整基金から2億円、都市整備基金から1億円、減債基金から4415万円など 繰越金 2億3611万2千円 (前年度繰越金、前年度より-7395万4千円、-23.9%) 諸収入 2億904万5千円 (前年度より+1714万2千円、+29.1%) 産業育成資金貸付金元利6011万4千円、商工業近代化資金貸付金元利5516万5千円など 分担金及び負担金 1億8686万円 (ほとんどが保育料、前年度より+755万9千円、+4.2%) 使用料及び手数料 5753万3千円 (前年度より+2068万7千円、+56.1%) 戸籍住民手数料及び諸証明手数料1273万6千円、清掃し尿手数料3103万8千円、黒埼荘使用料624万4千円など 財産収入 958万7千円 (前年度より-1000万3千円、-51.1%) 利子及び配当金671万5千円、土地建物売却263万円など 寄附金 167万6千円 民生費寄附95万6千円、教育費寄附72万円 | 町債 15億2040万円 (前年度より+1億7660万、+13.1%) 町道等改良整備事業債5億6940万円、減債補てん債1億4830万円など 地方交付税 14億1046万3千円 (前年度より+1億1413万3千円、+8.8%) 普通交付税12億374万円、特別交付税2億672万3千円 国庫支出金 6億2789万4千円 (前年度より-1億3729万6千円、-17.9%) 地域振興券交付事業1億2891万1千円、町道改良事業等補助金1億2345万円など 県支出金 2億5077万8千円 (前年度より-3334万8千円、-11.7%) 児童措置費負担金3762万円、老人措置費負担金3131万7千円など 地方消費税交付金 1億72万2千円 (前年度より-3943万3千円、-28.3%) 地方譲与税 1億72万2千円 (前年度より-3943万3千円、-28.3%) 自動車取得税交付金 5341万5千円 (前年度より-1017万9千円、-16.0%) 利子割交付金 2458万7千円 (前年度より-877万8千円、-26.3%) 交通安全対策特別交付金 835万7千円 (前年度より-13万9千円、-1.6%) 特別地方消費税交付金 101万7千円 (前年度より-4万6千円、-4.3%) |

特別会計決算報告

町には4つの特別会計があります。平成10年度の決算は次のとおりになりました。 単位:千円(%)



スポーツ大会

◆18回黒崎町小学生卓球大会(1月16日、総合体育館)

団体戦 男子優勝・木場小A
女子優勝・木場小A

個人戦A 男子4・5年の部優勝・永井俊行 男子6年の部優勝・高橋裕介 女子4年の部優勝・白井真紀子 女子5・6年の部優勝・石川恵

個人戦B 男子5・6年の部優勝・小林祐輝 女子4年の部優勝・黒川みなみ 女子5・6年の部優勝・横山真美

◆27回柳作・善久囲碁将棋大会(1月16日、柳作地区公民館)

将棋の部優勝・斎藤栄一郎② 平方亮吉③ 風間繁 囲碁の部優勝・浅妻昭三② 鈴木昭③ 阿部博